

誌面プレイバック

シリーズ読み物も充実!

第2特集といってもいいようなボリューム感のあるシリーズ読み物も数々展開してきました。

シリーズ「高齢社会と介護を考える」

1996(平成8)年19号から1998(平成10)年26号まで掲載。高齢社会と介護をテーマに、各号さまざまな視点から府内各市町村の取り組みや、識者へのインタビューなどを掲載。8回にわたって介護問題について取り上げました。

シリーズ「少子社会」

1997(平成9)年23号から1998(平成10)年26号まで掲載。少子化の背景と原因、現状について専門家の話を紹介するとともに、現実的な問題について掘り下げました。

シリーズ「介護保険テイクオフ」

1998(平成10)年27号から2000(平成12)年34号まで掲載。2000(平成12)年4月から導入される介護保険制度について、さまざまな面からの解説と検証を実施しました。

シリーズ「高齢期を過ごす住まいと施設」

2001(平成13)年39号から2002(平成14)年43号まで掲載。特別養護老人ホームから福祉マンションまで、高齢期の住まいと入所施設について、種類別にそれぞれの具体例を紹介しました。

シリーズ「心とからだを癒す」

2003(平成15)年47号から2005(平成17)年54号まで掲載。各号、笑い、眠り、香り、音楽、動物、植物、座禅、入浴というリフレッシュやリラクゼーションのためのさまざまな方法を紹介。その効果や有効な利用の仕方などについて伝えました。



左/シリーズ「高齢期を過ごす住まいと施設」の誌面
右/シリーズ「心とからだを癒す」の誌面



58号の表紙と大阪シニアサポーターバンクの活風景動



の4つの分野で活動している、おおむね60歳以上の高齢者の方々のボランティア団体・グループに登録していただいています。登録団体を、高齢者施設・保育所、自治会などのさまざまなイベントに派遣し、活躍していただいています。2009(平成21)年2月現在、45の団体が登録し、大阪府内各地でさまざまな活動を行っています。

『FINEおおさか』の誌面では、2006(平成18)年58号の特集で、大阪シニアサポーターバンクを取り上げました。シニアの社会参加について、大阪大学大学院人間科学研究科教授の藤田綾子さんのインタビューを掲載したあと、牛乳パックやダンボールなど身近なリサイクル物品等を使った子ども向けのおもちゃづくり教

室を地域のイベントや、学童保育などに出席する「大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会」、東大阪在住のシルバーアドバイザーの方と東大阪の市民グループで結成された団体で手づくりおもちゃ教室を出前する「くすのきヤジロベエの会」、腹話術、ハンドベル、あやつり人形、手品、南京玉すだれなどのステージを出前する「てんこもり劇場」、障がい者の授産製品の販売促進のため、販売場所・宣伝方法・品質向上の技術指導を行う「NPO法人アクティブ・エイジング」、唱歌、童謡から、歌謡曲、ポピュラー、アニメソングまで幅広いレパートリーで楽器演奏を出前する「ウィークデイ アンサンブル」の5つの団体の活動を紹介しました。